

「地域社会全体で支えていく子育て」を目指して

北九州市〈子ども家庭局子ども家庭部子育て支援課〉

●地域の状況

【人 口】974,780人（うち就学前児童 29,744人、小学生 51,550人）

【世帯数】423,776世帯

【概 況】北九州市は、九州の最北との接点に位置し、日本四大工業地帯の一つであり、自動車関連産業やIT関連産業を中心に企業の進出や事業拡大が進んでいる。市民、民間企業、NPOなどが持っている本来の力も生かしつつ、子育て支援、教育、福祉、環境に重点を置く、「人にやさしく、元気なまち」を目指している。

一方で、合計特殊出生率は、依然として人口置換水準を大きく下回る状況が続いており、このままでは人口が減少し続けることになる。

本市においては、様々な子育て支援施策を実施することとしているが、地域社会全体で子育てを支えていく意識の醸成や環境の整備が急務となっている。

●具体的な母親クラブ等の地域組織活動の内容

- 子ども達の安心・安全な利用のための公園安全点検、その他、非行防止キャンペーン（街頭啓発活動）や市政運営上の第三者会合への参加
- 北九州市地域活動連絡協議会主催「リーダー研修会」や「交流会」
 - 「リーダー研修会」…保育園園長先生や子育てアドバイザーなど、「子育て」の第1線で働かれています方を講師にお招きしての講演会。
 - 「交流会」……………北九州市地域連絡協議会の役員が様々な研修会で覚えた遊びや知識を各母親クラブ会員の方々への伝達研修会。
- 北九州市主催の子育てイベント「すくすく子育てフェスタ」への参加
 - 子育て日本一を実感できるまちづくりを進めていくことを広くPRするため、親子でたのしみふれあうことのできるイベント。
- 秋の交通キャンペーン
 - 毎年、地域の警察と協働で路上での交通安全啓発活動を実施している。
 - 児童館の子ども達と一緒に亀のマスコットを作り、「車を運転される皆さん、あわてず、ゆっくり走りましょう。亀のように」と祈りを込めて配布している。



交通キャンペーンの様子

小学校の体育館を使い、地域の警察の方から、交通安全について学んでいるところ。

○ 子育て支援「おさゆき広場」

校区の民生委員・福祉協力委員・PTA・母親クラブなど地域の方々と一緒に子育て支援を行う活動で平成22年度に10年目を迎えた。

○ お手紙配達

核家族、少子化、高齢化社会が進む中、地域の方々とのふれあいを目的に、学校と連携し、自分の書いたお手紙を年長者のお宅へ訪問し届ける（手渡しする）行事。平成22年度、教育委員会より「福原賞」をいただいた。

※「福原賞」

文化的・体育的活動や調査研究等で顕彰すべき成果をあげた小学生を表彰し、北九州市における学校教育の文化的・体育的活動の充実発展に資する。

福原賞は、学校法人「福原学園」を創設、教育界にて活躍された、故福原軍造氏のご遺族から「学校教育に役立ててほしい。」というご意向で、北九州市に寄付されたもの。

●母親クラブ等の地域組織活動と関係機関等との連携

○ 心豊かな少年を育てる市民大会実行委員

○ 青少年問題協議会へ参加

三世代交流を目的とした行事や安全安心パトロールなど児童館内だけで終わらない活動には、小学校やPTA、民生委員や福祉協力員の協力は欠かせない。

また、町内会のような地域組織の行事にも積極的に参加・協力することで、地域全体での連携を意識した活動を行っている。



三世代交流もちつき大会の様子。

町内会などの地域の方々との餅つき大会。最後は、つきたてのお餅でお雑煮をいただいた。

●市町村として母親クラブ等の地域組織活動を活用することのメリット

- 児童館行事等への母親クラブの参加により、行事内容の充実や規模の拡大が見込める。
- 公園安全点検について、利用者側にたった視点での安全確認が可能。
- 青少年問題や児童健全育成について協議会等を組織した場合、地域活動組織が参加することで、地域におけるネットワークを活かした情報収集が可能。子育て現場での問題点や課題、現状を把握することにより、協議会議題を現場の状況に即した（協議結果を反映しやすい）内容とすることができる。

●母親クラブ等の地域組織活動を活用するに当たり、工夫している点、ポイント等

- 各児童館を拠点としている母親クラブ及び北九州市地域活動連絡協議会に対し、補助金を交付している。
- 北九州市地域活動連絡協議会において、研修会等を開催する場合、会場の確保を行うなどのバックアップを行っている。

●母親クラブ等の地域組織活動に期待していること。

- 「児童館には地域のお母さん役がいる」との思いが地域の人々に浸透し、いずれは「地域社会全体で支えていく子育て」に発展していくこと。